

## \*スマホで柏崎市情報収集・共有を

①「LINE公式アカウント」 友達追加をすれば、防災情報や子育て情報、ごみの収集など柏崎市からの様々な情報が得られます。

登録はこちらから→



②「みちレポかしわざき」 道路・ガードレール（防護柵）の損傷や道路照明灯・カーブミラーの不具合などを投稿することで市に連絡できます。

登録はこちらから→



## \*議会と市民との意見交換会 <11月17日(水)会場：産業文化会館3階>

会場では3つのテーマ、「ワークライフバランス」「子育て環境の整備」「鳥獣被害対策」のうちから一つを選んで、テーブルごとに市民同士あるいは議員との意見交換を行います。

大勢の皆様の参加をお待ちしています。事前申し込みは不要です。



## \*各町内で早めの雪対策を

今年初めの豪雪は大変でしたね。これから迎える冬を前に、各町内で除雪体制を整えたり、除雪用具の点検をしたり、市の補助制度等を確認しておくことをお願いします。

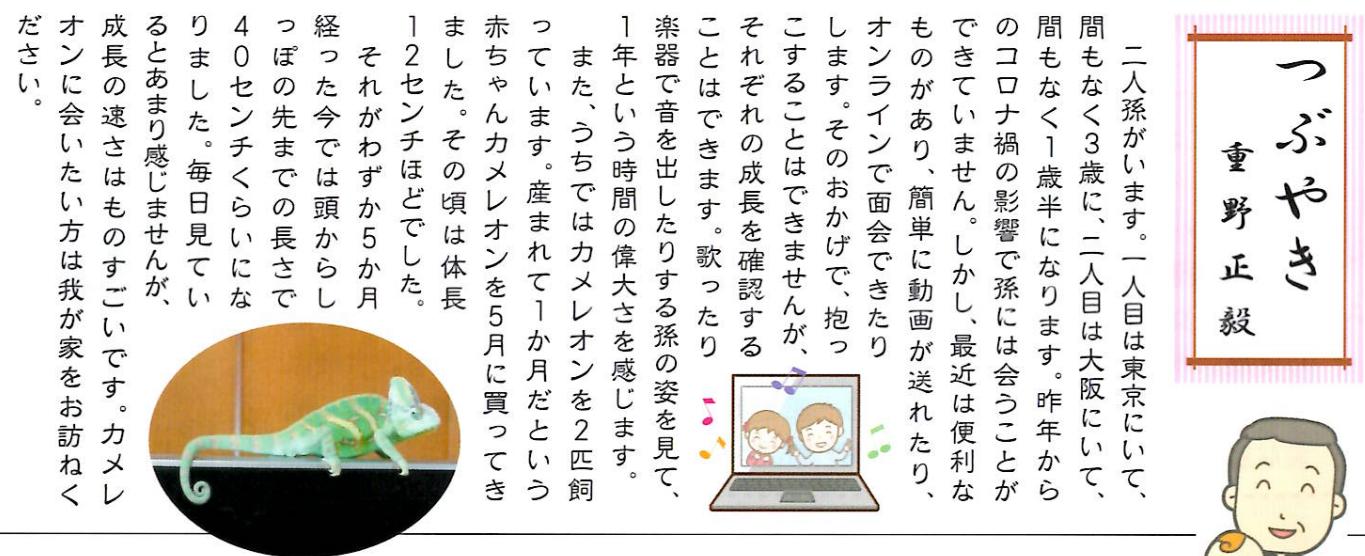


## 「重野まさきを囲む会」は今年も中止します

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年も開催を見合わせます。来年は新型コロナウイルス感染症が終息し、開催できることを願っています。「重野まさきを囲む会」は行いませんが、重野議員への支援は引き続きお願いしたいと思います。重野議員との懇談等を希望される方は、遠慮なく事務所にご連絡ください。



2年前の囲む会の様子



## 12月定例会議の予定

12月6日(月)～12月21日(火)

\*一般質問は9日(木)・10日(金)

「重野まさき後援会」への入会を募集しています。ホームページからも入会できます。

<http://www.m-shigeno.net> shigeno@mvg.biglobe.ne.jp

後援会事務所 ☎ 0257-24-1671 携帯 090-4717-9638 ★重野正毅はフェイスブックもしています。 フェイスブック 重野正毅

# 人を、まちを、未来を、つなげる しげの 重野まさき通信

第22号 令和3年11月1日発行  
発行：重野まさき後援会  
事務所：〒945-0072 柏崎市北園町19-47  
連絡先：☎ 0257-24-1671  
発行責任者：中村 広行 [後援会内部討議資料]



リモートで研修に参加したり、  
打合せを行っています

## ウィズコロナ時代へ

新型コロナウイルス感染症が2019年12月初旬に中国で第1例目の感染者が報告されてから、わずか数か月間で世界的な流行になりました。日本で初めて感染者が報告されたのが2020年1月16日でした。それから間もなく2年が経とうとしています。ワクチン接種は進んでいますが、根本的にこの感染症の治療薬、特効薬が開発されないと終息するとは考えられません。新規感染者数が減少しても安心はできません。

日本では全人口の60%以上の方が2回の接種を終えたとの報道がありました。私はこの感染症に対してワクチンは効果的だと思っています。柏崎市では3回目の接種も視野に入れていることです。ワクチン接種業務をはじめ、この感染症への医療関係者および行政当局の方々の献身的な対応には、心より感謝いたします。

この間、商売が成り立たない、パート時間が減り収入が激減した、子どもを預ける先がなく仕事に影響が出たなど、これまでと生活状況が一変した方も少なくないように思います。生活状況で困っている場合は、遠慮せずに相談ください。

新しい行動様式などが示され、まさにウィズコロナの生活が始まりました。ウイルスを正しく恐れ、正しく感染防止しながら、怖がり過ぎることのない中で、ウィズコロナ時代を生き抜きましょう。

## 2021年度のこれまでに議会・議員として関わったこと

### \*東京オリンピック聖火リレー(6月4日)

柏崎市でも聖火リレーが行われました。1年延期された東京オリンピックパラリンピックが無事開催されました。



### \*東中学校の竣工式(7月6日)

新校舎と体育館は令和5年3月に完成予定です。

### \*小学生体験航海(8月3日)

市内小学6年生が柏崎港から自衛隊の船に乗り、海上から柏崎市内を見ました。ちなみに今年は柏崎港開港50周年の記念の年です。



海上自衛隊船  
「すがしま」

### \*総合医療センターで「病児保育室(ピッコロ)」の開設(10月1日から)

新潟病院での病児保育室(ムーミンハウス)は継続しています。

### \*議員全員協議会で東京電力からの説明を受けました(10月8日)

柏崎市議会として東京電力から柏崎刈羽原子力発電所のIDカード不正使用や7号機の安全対策工事一部未完了を受けた総点検の取り組み状況等に対して説明を受けました。

### \*第5次総合計画後期基本計画の策定(計画期間:令和4年～令和7年)

総合計画は柏崎市の最上位計画です。前期の計画内容をある程度は継承しつつ、前期計画期間を評価した上で、後期計画を策定しています。議員との意見交換も行っています。

## 2020年度決算を認定

2020年度の一般会計は当初予算においては508億円の予算が編成されていましたが、定額給付金や感染症対策あるいは豪雪対応のために国からの交付金等があり、増額補正および前年度繰越額が加算されて、予算現額（全事業のもととなる予算の総額）は640億円ほどになりました。特に新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策と経済対策には国から10億円を超す交付金がありました。議会としては、このようなコロナ対策費を含め、予算の執行は妥当であると判断し、認定しました。



柏崎市デジタル予算書（←こちらから）で各事業の執行様子や決算を確認できます。



## 文教厚生常任委員長として

重野議員はこれから2年間、文教厚生常任委員会の委員長を務めることになりました。文教厚生常任委員会は、「福祉保健部」「子ども未来部」「教育委員会」を所管し、福祉、医療、介護、健康、子育て、保育、教育、スポーツ、文化などを中心に扱います。重野議員はこれらに限らず、市民活動、危機管理、防災、産業、都市整備などすべてにこれまで通り、市民生活に根差した活動を行っていきます。



## 新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員として

斎木裕司議員がご逝去されたため、それまで務めていた任を重野議員が代わりに務めることになりました。ここは新潟県内30市町村議会から1名ずつ選出された議員が、後期高齢者医療に関する条例制定や予算等を審議する議会です。柏崎市議会の代表として務めます。

## 重野議員の主な一般質問

### <6月定例会議>



① 2030年、その先の将来を見据えた中で、5次総後期基本計画終了の4年後の柏崎市の具体的な姿をどう描いているのか。SDGsの理念の浸透やさらなる発展に向けての今後の取り組み方針についての見解は。

①（市長答弁抜粋）人口減少の加速を実感している。4年後の具体的な姿は府内策定部会での検討や市議会との意見交換を行いながら、総合計画審議会の分科会委員の皆様から議論をしていただいている段階。後期基本計画策定は課題と現状を踏まえた施策を展開するとともに、SDGsとの関連付けにより、各施策が持続可能な社会の実現に結びつく取り組みであることの可視化を行う。SDGsによるまちづくりを推進するということではなく、あくまでも総合計画に基づく本市のまちづくりがSDGsの目指す方向と一致しているということを示しているということである。

②令和5年度からの「休日の部活動の段階的な地域移行」および「合理的で効果的な部活動の推進」に向けた柏崎市としての考え方。



②（教育長答弁抜粋）日程がタイトになっている。積み重ねてきた課題が一気に噴き出してきており。昨年度末から中体連とスポーツ協会と協議を進めている。大会の在り方も整理していく必要もある。刈羽村だけでなく上越地区の市町村との情報を共有しながら連携を図り協議していくことも必要である。今年度中にモデル校あるいはモデル競技種目を決めて動き出したい。



近藤喜祐教育長が再任しました。任期は令和6年10月までの3年間です。

### <9月定例会議>

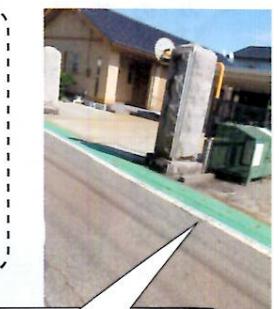


③国「子供・若者育成支援推進大綱」を受けた、柏崎市の目指す子ども・若者の姿およびそれを支える学校を含めた地域社会の在り様は。

③（市長答弁抜粋）子ども像は「強くやさしい子ども」、「柏崎に愛着を深め誇りをもつ子ども」。市の目指す子ども像に近づけていくためには、学校教育を中心ながら子ども若者育成に携わる関係者だけでなく家庭や地域住民、民間事業者を含めたすべての大人が地域ぐるみで子ども若者を見守り、育てる取り組みが一層必要になってきている。学校を含めた地域社会を構築していく。

④道路における路肩のカラー化は歩行の安全に効果がある。優先箇所や実現への方向は。

④（市長答弁抜粋）路肩のカラー化は交通事故防止には有効な手段。路肩の幅が狭く交通量が多い通学路において、道路拡幅や歩道新設が困難な場合に限り実施。現在市内の県道の一部と日吉小学校前の市道で実施している。今後は対面通行になる四谷周辺の通学路の一部で実施する。引き続き路肩のカラー舗装など通学路等における歩行空間の整備に努めていく。



⑤柏崎市における無電柱化の実現のめどとは。

新たに整備した槙原小学校周辺歩道のグリーンベルト

⑤（市長答弁抜粋）コストが高額、電線管理者との協議調整が必要など課題がある。安全で円滑な交通確保、防災、景観の面からも有効な手段であると考えている。市内で実施済みの市民プラザからえんま通りまでの事業手法を参考にし市街地の無電柱化に向け、より事業効果がある地区路線を調査していく。